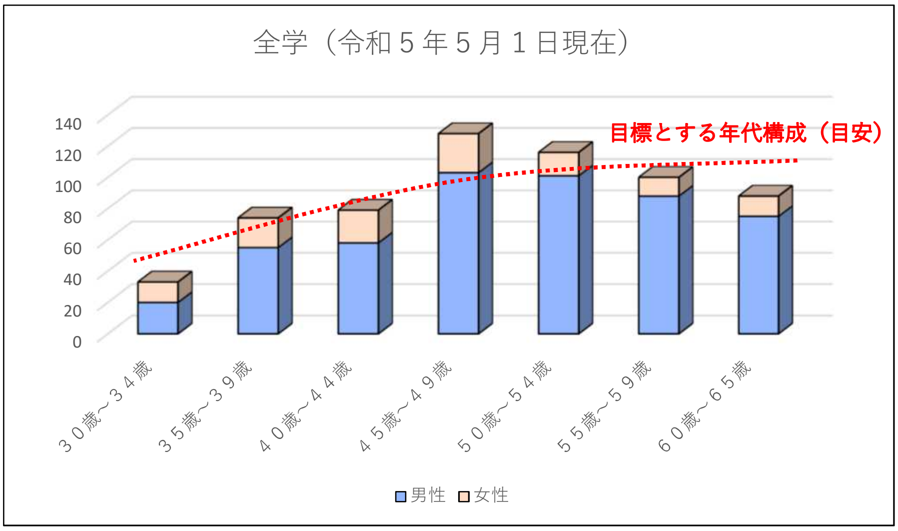
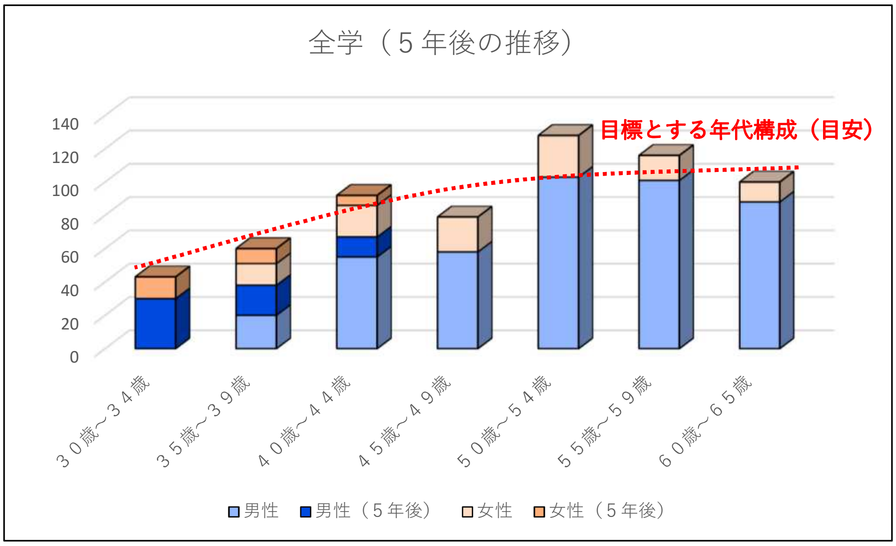
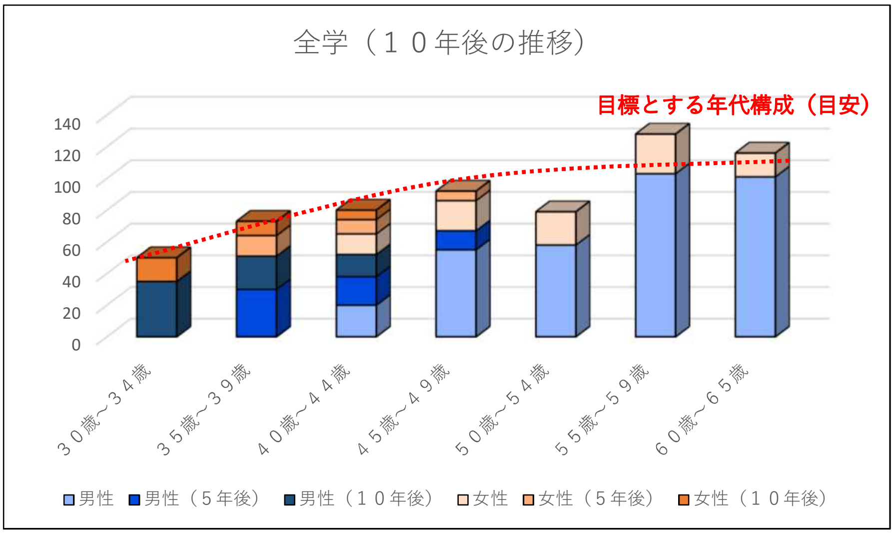
宮崎大学における目標とする教員の年代構成について

宮崎大学は、2022年10月、新たに設置した人事委員会において、学長のリーダーシップのもと、人事担当理事が大学全体の人事を一括管理する体制を整え、総合大学として各年代の構成員（教員）数に偏りがないことや、若手や女性等を含む多様な人材の確保、及び若手研究者の育成と活性化の観点から、目標とする年代構成を掲げている。人事委員会では、現状の各年代の構成員数や女性教員数を、将来推移予想とともに全部局と共有し、新規採用者のうち40歳未満の若手を80%とすることを目安としている。

また、女性教員の比率については、国立大学協会が推進している「国立大学における男女共同参画推進について　―アクションプラン（2021年度～2025年度）―」を踏まえ、新規採用者に占める女性教員の割合を30%以上となることを目標としている。